



アンダンテ

君と僕 互いの力生かし合う
共同参画パートナー

「アンダンテ」…「歩くくらいの速さで、ゆっくり演奏」という意味の音楽記号
男女共同参画の理解や取り組みが「じっくりと自分のペースで進む
ように」という期待を込め、名付けました。

No.19



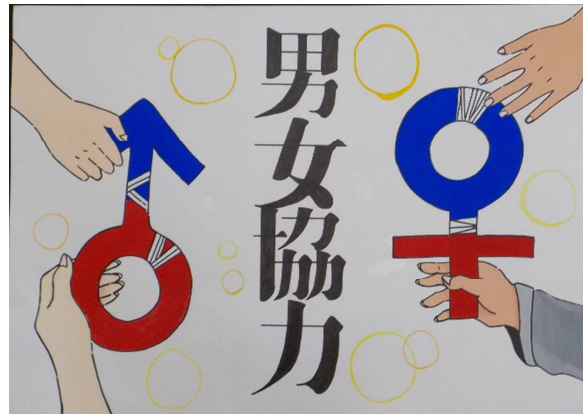
～性別や年齢の違いを超えて、男女が平等に
そして、自分らしく生きていくために～

男女共同参画社会に向けた作品展

登別市では、男女共同参画社会について家庭や学校、職場、地域で考えるきっかけとしてもらうため、標語や習字、ポスターなどで男女共同参画社会のイメージを自由に表現した作品を募集し、市民会館に募集作品全てを展示する作品展を開催しています。

令和4年度は、市内外の小・中・高校生から標語 146 点、習字 821 点、ポスター17 点が寄せられました。

その中から、**ポスターの入賞作品、標語・習字の最優秀作品**を紹介します！



最優秀賞

鷺別中学校 高見 柚希



入賞

鷺別中学校 梅田 里菜



優秀賞

鷺別中学校 湊 柚乃

幌別東小学校六年
青柳 奏音

互いにね
認める心
大切に

幌別西小学校五年
寺井 星南

君だから
性別なんかに
とられない

幌別西小学校四年
榎本 佳乃花

差別なく
笑顔でいっぱい
いい未来

高三
美月
共同
参画

登別青嶺
高等学校
吉成 美月

中二
くるみ
男
平等
女

登別明日
中等教育学校
久我原 くるみ

小六
伊藤 日和
思
い

幌別小学校
伊藤 日和

小五
武田 花愛
成長

幌別東小学校
武田 花愛

小四
三浦
凜々奈
女

驚別小学校
三浦 凜々奈

登別市男女共同参画フォーラム2022



日 時：令和4年12月10日（土）
13時30分～15時00分

会 場：登別市民会館 中ホール

テーマ：～自分らしさを知って、しなやかに生きる～

講 師：美冬キャリア代表 降幡 美冬 さん

登別市男女共同参画社会づくり推進会議が主催し、北海道立女性プラザ連携事業として「男女共同参画フォーラム2022」を開催しました。フォーラムでは、「自分が大切に感じる価値観と過去の経験の共通項を探ることによって自分らしさを見つけ、在りたい未来の姿を描くこと」から始まり、困難を乗り越える力・レジリエンスの一つとして、呼吸や音に集中し思考をクールダウンするマインドフルネスの体験、視点や解釈を変えることによる発想の転換（自分に都合よく解釈する）などが分かりやすく紹介されました。

参加者の皆様からは、「新たな学びと気づきがあった」、「日常の生活に活用出来る内容でおもしろく感じた」、「レジリエンスのやり方が参考になった」など、たくさんの感想をいただきました。

～地域で活躍する女性へのインタビュー～

大岩 真由美 さん

☆ 日本人女性初のサッカー1級審判員 ☆



Q サッカーとの出会い、審判の資格をとるきっかけは

A 中学生の時、インターハイ全国3位になった室蘭大谷高校の試合をテレビで見て興味をもち、高校卒業後、サッカー少年団のコーチを務めたことが原点です。

Q 審判をして印象に残っている試合は

A 選手にとっては、どの試合も大切なものですが、私もその意識で審判員を務めますが、高校選手権、JFL、女子ワールドカップ中国大会は忘れられない試合です。

Q 男性審判員との差は感じますか

A スピードやフィジカル面での差を埋めることは難しいので選手の動きや試合の展開を読み仲間の審判員との連携でカバーできるよう心掛けていました。選手が納得のいく判定をすれば偏見はなくなります。

Q 試合の審判で最も難しいのは

A 1試合を走りきるための走り込みやフィジカルトレーニングは元より、どちらともとれる状況で、いかに双方が納得のいく判定をするのが、難しいところですが腕の見せどころでもあります。

Q 去年のワールドカップの感想を

A 日本チームの活躍はもちろん嬉しかったのですが、他の試合もワクワクしながら観戦。久しぶりにエキサイティングな大会でした。

Q 今後のサッカーとの関わり方は

A この15年間で飛躍的に増えた女性審判員の育成インストラクターとして、後継者の育成に努めます。

Q 審判員になりたいと言う小中学生の女の子にアドバイスを

A 多くの出会いと、その方々に支えられながらここまでたどり着きました。常に感謝の気持ちと挑戦する意欲を大切にしてください。

インタビューの中で「出会い」「感謝」というワードを何度も口にしながら、これまでの審判員としてのキャリアを分かりやすく語っていただきました。

大岩さんのプロフィール

日本サッカー協会公認の審判員資格1級を女性として初めて取得する。その後、女性では初めてJFL、全国高校選手権、天皇杯で主審を務める。

2007年FIFA女子ワールドカップでは日本人女性で初めて主審を担当し、決勝では第4審判員を務める。2010年から3年間室蘭大谷高校女子サッカー部監督を務め、全国大会出場に導く。退任後の2012年6月、日本サッカー協会理事に就任。2021年4月、日本女子サッカーリーグ理事、2021年9月、日本サッカー協会評議員に就任。現在は登別市立登別中学校で事務職員を務め、週末は後輩審判員の育成にあたる。

小学4年生向け啓発冊子「あなたらしく、自分らしく！」アンケート結果

登別市では、男女共同参画啓発冊子「あなたらしく、自分らしく！」を小学4年生に配布し、児童と保護者の皆様を対象としたアンケートを実施しています。集計結果の中から抜粋してご紹介します。

●児童アンケート結果（回収率91.1%）

Q4. 「女のくせに」「男のくせに」という言い方はない方がいいなと思う。

区分	R4年度(%)	R3年度(%)
はい	93.5	92.7

●保護者アンケート結果（回収率56.5%）

Q2. 子育てにおいて、男の子は「男らしく」女の子は「女らしく」と意識していますか。

区分	R4年度(%)	R3年度(%)
はい	23.6	28.8

※ アンケートの結果から

児童アンケートでは、性別に対して特にこだわりを持っていないことが伺えます。保護者アンケートでは、親世代よりも子供世代の方がジェンダーフリーの考えが浸透しているといった意見や、性別に関係なく自分らしくいられることが大切といった意見をいただきました。

『子どもが子どもでいられる街に！』

～気づいてあげましょう、子どもたちの声に～



＜ヤングケアラー＞という言葉をご存じですか？

「18歳未満の子どもで、家庭にケアを要する人がいて、大人が担うような家事や家族の世話、介護や家計支援のサポートをおこなっており、本来の子どもの姿であるべき「勉強・部活・遊び」などがままならない子どもたち」のことです。

「子どもとしての時間」と引き換えに、家事や家族の世話をしている子どもたちを、大人が気づき、声をかけ、手を差し伸べることでヤングケアラーが、「自分は一人じゃない」「誰かに頼ってもいいんだ」と思える「子どもが子どもでいられる街」を、みんなで作っていきませんか？

◇専門相談窓口

北海道ヤングケアラー相談サポートセンター

0120-516-086 月～金 8:45～17:30 (土日祝、12/29～1/3 を除く)

～「つらい」と感じていませんか？～

夫婦や恋人のような親しい人からの暴力はありませんか？
DVは支配を目的とする暴力で、人の尊厳を踏みにじるものです。また、子どもの面前でのDVは子どもにとって心理的虐待にもなります。



登別市はDV防止と被害者支援に取り組んでいます。

DV防止カードをご存じですか？ 市の公的施設などに設置してあります。

① 登別市
自分さえ我慢すれば…と思っているあなたへ
もう、ひとりで悩まないで！
DV相談窓口：登別市市民相談室
☎85-3491 または ☎85-2139

(おもて)

DV相談窓口

登別市市民相談室 ☎0143-85-3491・☎0143-85-2139
室蘭警察署生活安全課 ☎0143-46-0110
胆振総合振興局環境生活課 ☎0143-22-5286
《配偶者暴力相談支援センター》
北海道立女性相談援助センター ☎011-666-9955

民間シェルター

ウイメンズネット・マサカーネ(室蘭市) ☎0143-84-4042(平日10:00～17:00)
ウイメンズ結(苫小牧市) ☎0144-32-0100(平日10:00～16:00)

緊急時は110番通報するか、最寄りの警察署・交番に助けを求めてください(24時間対応)

(うら)

問い合わせ先

登別市市民生活部市民サービスグループ

〒059-8701 登別市中央町6丁目11番地 TEL: 0143(85)2139

FAX: 0143(85)7674 Mail: simin_danjyo@city.noboribetsu.lg.jp

登別市男女共同参画情報紙「アンダンテ」第19号 発行日：令和5年4月

企画・編集：登別市男女共同参画社会づくり推進会議 アンダンテ企画・編集委員一同